



2021年5月8日

第65回代表幹事会議案書

日時：2021年5月8日（土）書面開催

◆今回の代表幹事会の目的は、6/26（土）書面開催予定の2021年度総会に上申する議案の審議である。

4月24日（土）に役員会（オンライン）を開催して、議案について審議・調整の上、以下議案書を提案し承認された。

議題1 役員人事

議題2 館山寮再建

議題3 2020年度事業報告と決算

議題4 2021年度事業計画と予算

報告1 母校の動向

報告2 OB・OGのためのキャリアガイダンス

報告3 財団法人朝陽会

議題1 役員人事

◆改選についての主要点

会長の交代

S19 橋本さんから「会長職を辞任し幹事長職を引き継ぐ」とのお申し出、後任に「S15 青柳正規さんを次期会長に推薦する」とのこと。

青柳さんは過去第14代会長として2013年5月に就任されたが、同年7月に文化庁長官を拝命されたため、2014年5月に会長職を辞職された経緯があります。

青柳さんの略歴は、別添1の通り

副会長の選任

役員の改選は2年ごとであり、基本的に今年度の副会長の交代はない。

空席の部活OB会推薦母体の副会長は打診するも今回は断念

◆新役員

会長

青柳正規 S15 新任

副会長

小林暁生 S08 留任 01～10回から選出

西出紀久 S15 留任 11～20回から選出

柴田真樹 S18 留任 同上

西尾信子 S24 留任 旧教職員から選出

渡辺康隆 S25 留任 21～30回から選出

宮坂雅子 S27 留任 同上

高橋 寛 S32 留任 31～40 回から選出
小野瑞城 S34 留任 同上
渡辺信久 S34 留任 支部朝陽会から選出
楠木綿太 S60 留任 41 回以降から選出

幹事長

橋本健一 S19 新任

監事

中越一統 S31 留任 公認会計士
廣田勝彦 S44 留任 税理士

◆退任役員

会長

橋本健一 S19 幹事長に就任 同上

幹事長

西出紀久 S15 副会長は継続

議題 2 館山寮再建

◆館山寮再建実行委員会の設置

名称等変更

2019年10月(財)朝陽会に設置され今日まで活動してきた「館山寮再建委員会」に、同窓会副会長ら3名を加え再編成する。名称も「館山寮再建実行委員会」に変更し仕組明文化

意思決定の仕組み等を定めた「館山寮再建実行委員会規程」をし、現在財団理事会の承認手続き中。

骨子は以下の通り

委員会は、代表理事の求めに応じて、館山寮再建計画に関する設計と条件、工事内容の確定などを検討・立案し、報告

委員会は代表理事の求めがない場合においても、館山寮再建計画に関して重要と判断した事項に関し、代表理事に提案、対処策の立案、報告可能

委員の選定方法を明文化する

委員会メンバー

新規委員 柴田眞樹 S18、高橋寛 S32(委員長委嘱)、駒形昭子 S43

継続委員 湯山康樹 S25、岩崎洋平 S38、鈴木仁志 S38、富宇加潤 S48

◆今後の進め方

方針

「館山寮再建実行委員会規程」に則り来年夏の臨海教室実施に向け寮再建を目指す本年度は再建工事の障害となる既存不適格部分の解決を図るために、まず設計士の選任をする必要があり、設計士と共に諸課題を解決していく

社会的信用があり実績のある4社に設計委託料の見積もりを依頼し、最低価格を提示したニジャーキテクツ一級建築士事務所を選定する。現在財団理事会の承認手続き中。同事務所は第一期工事を担当している

◆今年の臨海教室

学校側の意向

宿泊行事は、例えば「ゴーツートラベル」のような施策が実施されるような状況になれば解禁されると見込まれている

その場合は1クラス毎に1泊2日の臨海教室も開催可能となる
 女子棟2棟に生徒を宿泊させ、男子棟跡地に教師、水泳会OBOG用トレーラーハウスを設置することで臨海教室開催可能としている
 トレーラーハウスは300万円弱の使用料でレンタルすることも検討

議題3 2020年度事業報告と決算

◆事業報告 全般

総括

2020年度は新型コロナの感染拡大により、同窓会活動は著しく制約を受けた
 規約の改正

2020年度総会において寿会員制度の廃止など一部規約の改正実施 12月

役員人事

同じく総会において卒業回10回ごとに副会長を選出するなど、
 選出方法を改正 12月

◆事業報告 100周年記念事業

朝陽記念募金

100周年記念募金 年度目標額 1,000万円 年度実績 466万円

館山寮再建募金 年度目標額 1,000万円 年度実績 595万円

朝陽奨学金

今年度実績 12名 120万円を給付 通年

館山寮再建

第1期工事完了 男子棟トイレ、風呂などの修復と男子棟の解体 7月

第2期工事計画 詳細立案継続

事業準備室

利用頻度低迷のため賃借契約を解除 7月

◆事業報告 一般活動

総会

コロナ禍の影響で書面開催が7か月遅れ
 役員人事、規約の改訂など決議 12月

支部朝陽会

全支部中止または延期

事務局テレワーク

設備を導入し在宅勤務開始 5月

「朝陽」69号発行 11月

キャリアガイダンス 2月

OB・OGのためのキャリアガイダンス

第1回開催 在校生を含め20名の参加 3月

各種イベント

ホームカミングデー、戸山交流戦など中止

◆決算

活動区分別収支

昨年度から一般活動と100周年記念事業をそれぞれ一般会計と特別会計に区分して収支を表示

一般会計については鋭意経費の節減等を図った結果86万円の黒字

特別会計も190万円の黒字を計上

監査

4月16日に中越監事と廣田幹事の監査を受け、「特に問題なし」とのこと
予算と実績の対比

詳細は別添2、4参照

議題4 2021年度事業計画と予算

◆事業計画 全般

総括

今年度もコロナ禍の影響を受け、同窓会活動が大きく制約を受けている。

しかし館山寮の再建や100周年記念事業の追い込みなど大変重要な年なので、創意工夫を凝らし成果が出るよう努力する。

◆事業計画 100周年記念事業

朝陽奨学金

今年度15名に給付予定

来年度から2023年以降10年間分の基金積立を開始する。

記念名簿

2022年度末に(株)サラトという同窓会支援専門業者に委託して作成の予定

記念音楽会

2022年度、または2023年度に開催の予定（コロナ影響を加味して判断）

開催団体は下記の通り、各ジャンルでの個別開催とする

合唱 朝陽合唱団、六声会合唱団

オーケストラ 管弦OB会

軽音楽 軽音楽OB、有志（ライブハウス開催）

記念祝賀会

2022年10月23日（日）に京王プラザホテルで開催の予定

参加者数400名 立食、または着座（コロナの影響を加味して判断）

ゲストなどは今年度中に決定する

100周年記念誌「新宿高校100年の歩み」

「通史」と「100年誌」の2冊を作成

銘板作成

朝陽募金賛同者の内、銘板掲載可の方の銘板を2022年度に設置の方向

ホームカミングデー

今年度はコロナ禍のため開催断念

◆100周年記念事業収支計画 詳細別添3参照

募金

2022年度末までに100周年記念募金1億円と館山寮再建募金5千万円を集める

奨学金

2023年から10年間毎年150万円給付を継続するための基金を引き当てる

館山寮の改築

維持補修費に充当

集いの場

今後無償借用可能な物件が出たときの初期費用として留保

祝賀会・音楽会・100年誌・銘板

100周年記念募金から補助金を支出する。支出に当たっては予め予算を作成し代表幹事会の承認をえる

館山寮再建募金

全て館山寮再建のために引当て、もし残金があれば寮の維持費に充当

2022年度末までの募金最終目標

100周年記念募金 10,000万円

館山寮再建募金 5,000万円

2022年度末計上の積立金

奨学金	2023年から10年間毎年150万円給付を継続	1,500万円
館山寮改築	今後の寮の維持費に充当	2,600万円
集いの場	今後無償借用可能物件が出たときの初期費用	1,380万円
館山寮再建	館山寮再建に引き当	5,000万円

◆事業計画 一般活動

「朝陽」70号発行	館山寮と100周年記念事業を取り上げる	6月
総会	書面開催	6月
支部朝陽会	開催	未定
朝陽祭	開催	9月
校歌祭	開催	10月
新宿戸山ゴルフ交流戦	開催	10月
キャリアガイダンス		
母校主催	現役生対象のキャリアガイダンスに講師派遣	2月
同窓会主催	OBOGの為のキャリアガイダンス 3~4回開催予定	通年

◆予算

活動区分別収支

一般活動の収支はゼロ

100周年記念事業の収支は709万円の黒字

実績と予算の対比

詳細は別添5、6参照

報告1 母校の動向

◆校長、副校長人事

校長	転入	藪田憲正	前任地	中部学校経営支援センター
	転出	加藤 隆	転出先	東京都教職員研修センター
副校長	転入	高取克明	前任地	小平南高校副校長
	転出	内海秀一	転出先	石神井高校校長

◆入学者 76 回生

男子 149 名（推薦 8 名 学力 141 名）

女子 170 名（推薦 24 名 学力 146 名）

合計 319 名（推薦 32 名 学力 247 名）*入学辞退 1 名

◆大学合格・4 月 5 日現在

難関国立 東大 1（現）、東工大 6（現 5、浪 1）、一橋 3（現 3）

旧帝大 北大 4（現 3、浪 1）、東北 1（浪）、名古屋 1（現）、九州 1（現）

国公立等 121（現 104、浪 17）

私立 早 81（現 67 浪 14）、慶 28（現 26 浪 2）、上智 32（現 29 浪 3）、

理科 71（現 59 浪 12）、GMARCH 計 415（現 373 浪 42）

◆第 73 回卒業式

3 月 16 日（火） 来賓なし

◆第 76 回入学式

4 月 7 日（水） 同上

◆緊急事態宣言への対応

74 回生修学旅行中止

1, 3 年は登校による通常授業、2 年はオンライン授業

部活は当面休止

報告 2 OB・OGのためのキャリアガイダンス 別添 7 参照

◆経緯

組織強化担当の小野副会長および楠副会長より、別添企画書の提案あり

◆第 1 回 OB・OGのためのキャリアガイダンス開催

先行実施として、3 月 27 日（土）13:00～15:00 に下記の教職関係の方々を講師として、オンライン方式で開催され、現役高校生も含め、約 20 名の参加を得て、各 20 分の講演の後、活発な質疑応答が行われた。

◆講師

古谷 真（S65） 佐藤栄学園栄東中学校・高等学校 教諭（地歴・公民）

池田 丞吾（S66） 足立区立千寿小学校 教諭

森 奈乃（S68） 足立区立中島根小学校 養護教諭

報告 3 財団法人朝陽会

◆役員交代

3 月 31 日に開催された理事会・評議員会で田中俊郎さんの辞任により西出紀久さんが代行していた代表理事の職に橋本健一さんが選任された。

<当面の日程>

◆朝陽同窓会

5 月 15 日（土） 「朝陽」70 号 原稿締切

6 月 01 日（火） 「朝陽」70 号 発送開始 外注利用

6 月 26 日（土） 2021 年度総会 書面開催（7 月 3 日賛否締切）

以上

別添 1

青柳 正規 （あおやぎ まさのり）

1944 年、大連生まれ。古代ローマ美術・考古学を専攻。東京大学文学部教授、国立西洋美術館館長、文化庁長官などを務め、現在、東京大学名誉教授、東京藝術大学特任教授、日本学士院会員、山梨県立美術館館長、学校法人多摩美術大学理事長、奈良県立橿原考古学研究所所長、東京オリンピック・パラリンピック文化・教育委員会委員長、石川県立美術館館長、他。50年に亘りイタリアの古代ローマの遺跡発掘に携わる。



国内では、地中海学会賞（1978年）、マルコ・ポーロ賞（1991年）、浜田青陵賞（1991年）、毎日出版文化賞（1993年）、紫綬褒章（2006年）、日本放送協会放送文化賞（2011年）、瑞宝重光章（2017年）などを受賞。海外では、イタリア ポルト・エンペドクレ賞（1984年）、イタリア共和国功績正騎士勲章（2002年）、イタリア Sebetia Ter 国際賞（2008年）、イタリア Torquato Tasso 国際賞（2017年）、イタリア Amedeo Maiuri 国際考古学賞（2019年）を受賞。

著書は、『皇帝たちの都ローマ』、『ローマ帝国』、『文化立国論』、「人類文明の黎明と暮れ方」他。

朝陽同窓会関係

2013年・平成25年5月 第14代会長就任（国立西洋美術館館長）

2014年・平成26年5月 退任（文化庁長官就任による公務多忙）

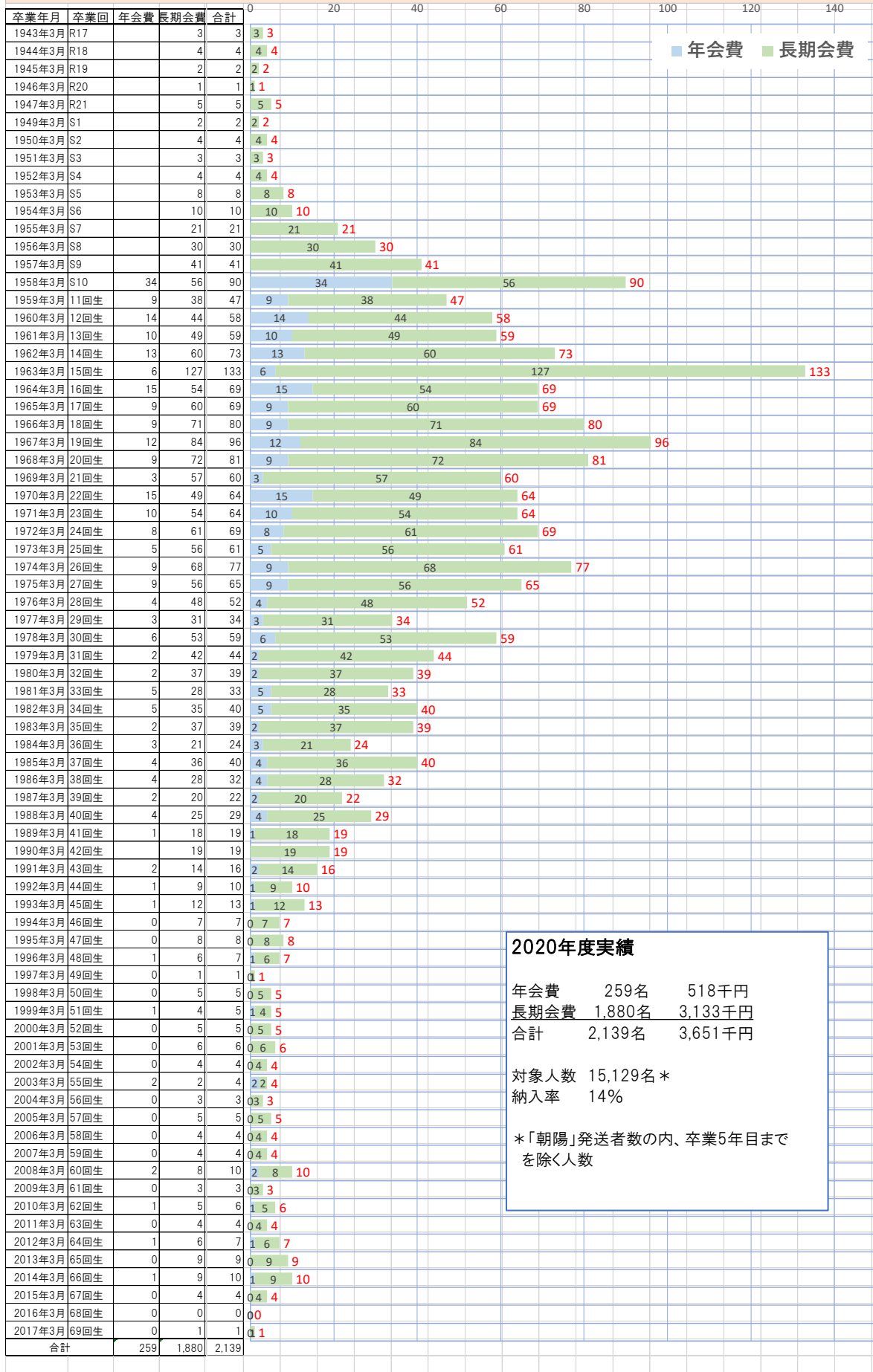
		2020年度決算案		別添2
		2020年4月1日より2021年3月31日まで		
△印は予算に対して実績が少なかったことを示す				
勘定科目	予算	実績	差異	差異理由(予算→実績)
●一般活動				
＜収益の部＞				
入会金	4,088,000	4,100,000	12,000	
年会費	570,000	629,000	59,000	
長期会費	4,470,000	3,623,756	△ 846,244	2683名⇒2175名
寄付金	0	60,000	60,000	
朝陽広告料収入	540,000	427,000	△ 113,000	広告料一部未回収
預金受取利息他	7,000	15,701	8,701	
財団受託手数料	360,000	360,000	0	
収益小計	10,035,000	9,215,457	△ 819,543	
＜費用の部＞				
事務局手当	2,904,000	2,916,000	12,000	
通勤交通費	237,000	215,248	△ 21,752	
会議費	70,000	30,000	△ 40,000	
通信費	395,000	366,109	△ 28,891	
光熱費	192,000	161,013	△ 30,987	
消耗品費	464,000	434,770	△ 29,230	
記念品・慶弔費	220,000	60,000	△ 160,000	役員慰労金辞退
銀行郵貯手数料	147,000	173,170	26,170	
取扱手数料	150,000	278,388	128,388	クレジットカードによる納入増
減価償却費	112,000	115,683	3,683	
出張旅費	0	0	0	
名簿印刷発行費	127,050	127,050	0	
朝陽発行費	3,260,000	3,461,324	201,324	発送手続きの外部委託化
総会費	0	0	0	
支部助成金	30,000	0	△ 30,000	
校歌祭費用	0	0	0	
朝陽クラブ運営費用	0	0	0	
雑損失	0	2,538	2,538	
活動助成金	50,000	0	△ 50,000	
母校支援費	100,000	60,000	△ 40,000	
予備費	1,000,000	0	△ 1,000,000	
費用小計	9,458,050	8,401,293	△ 1,056,757	
一般活動収支	576,950	814,164	237,214	
●100周年記念事業				
＜収益の部＞				
100周年記念募金	10,000,000	4,701,000	△ 5,299,000	当初予想に届かず
館山寮再建募金	10,000,000	5,951,010	△ 4,048,990	//
収益小計	20,000,000	10,652,010	△ 9,347,990	
＜費用の部＞				
朝陽奨学金	2,100,000	1,200,000	△ 900,000	就学援助金発生せず
館山寮再建引当金	10,000,000	5,951,010	△ 4,048,990	
事業準備室	920,000	807,704	△ 112,296	維持経費節減
ホームカミングディ	0	0	0	
記念音楽会	100,000	0	△ 100,000	実費発生せず
記念ロゴ	250,000	156,184	△ 93,816	
100年誌	30,000	10,698	△ 19,302	
水上寮再生	30,000	0	△ 30,000	
朝陽合唱団	30,000	0	△ 30,000	
募金趣意書印刷	633,000	583,260	△ 49,740	
費用小計	14,093,000	8,708,856	△ 5,384,144	
100周年記念事業収支	5,907,000	1,943,154	△ 3,963,846	
当期経常増減額	6,483,950	2,757,318	△ 3,726,632	

事業区分	2020年迄 の実績	2021年 予算	2022年 予想	積立金	合計
収入					
100周年記念	7,205	1,000	1,795		10,000
館山寮再建	2,739	1,000	1,261		5,000
支出					
奨学金	600	150	150	1,500	2,400
館山寮改築	1,650			2,600	4,250
集いの場	550			1,380	1,930
祝賀会			350		350
音楽会			200		300
100年誌		40	760		800
銘板			70		70
館山寮再建				5,000	5,000
差引	7,144	1,810	1,526	△10,480	0

財産目録		2021年3月31日現在		別添4
科目	金額	科目	金額	
<資産の部>		<負債の部>		
現金	45,585	源泉徴収所得税預かり	14,696	
(募金等引当預金)		予納会費-74、75回生	4,065,000	
定期預金	30,000,000	預り金-館山寮再建募金	27,392,083	
定額貯金	13,000,000	長期会費未経過分引当金	11,668,664	
郵便貯金	22,000,000	計	43,140,443	
(その他預金)				
普通預金	9,419,155	<繰越金>		
郵便貯金	11,214,846	100周年記念募金繰越金	37,079,198	
未収入金	2,501,361	一般繰越金	8,400,903	
器具備品	439,597	計	45,480,101	
合計	88,620,544	合計	88,620,544	
		(註) 100周年記念募金繰越金		
		2015年度	17,341,200	
		2016年度	11,853,673	
剰余金処分案		2017年度	16,357,407	
		2018年度	9,850,442	
1.前年度繰越金	42,722,783	2019年度	12,010,910	
		2020年度	4,701,000	
当期経常増減額	2,757,318	募金累計	72,114,632	
計	45,480,101	奨学金	△ 6,000,000	
		館山寮改修費用	△ 16,500,000	
2.これを次の通り処分します		集いの場費用	△ 5,641,363	
次期繰越金	45,480,101	100周年記念事業費	△ 6,894,071	
		支出累計	△ 35,035,434	
		差引繰越金	37,079,198	
会計監査報告				
2020年度朝陽同窓会の会計監査を行いましたところ、会計帳簿及び証憑書類との照合結果については、いずれも一致していることを確認いたしました。				
2021年4月16日		監事	中越一統・廣田勝彦	

		2021年度予算案		別添5
		2021年4月1日より2022年3月31日まで		
				△印は実績に対して予算が少なくなったことを示す
勘定科目	前年実績	予算	差異	差異理由(実績→予算)
●一般活動				
＜収益の部＞				
入会金	4,100,000	4,100,000	0	
年会費	629,000	691,000	62,000	
長期会費	3,623,756	3,986,000	362,244	前年実績の10%増
寄付金	60,000	60,000	0	
朝陽広告料収入	427,000	452,000	25,000	
預金受取利息他	15,701	10,000	△ 5,701	
財団事務受託収入	360,000	360,000	0	
収益小計	9,215,457	9,659,000	443,543	
＜費用の部＞				
事務局手当	2,916,000	3,400,000	484,000	事務局員交代のため重複期間分手当
通勤交通費	215,248	230,000	14,752	
会議費	30,000	30,000	0	
通信費	366,109	370,000	3,891	
光熱費	161,013	190,000	28,987	
消耗品費	434,770	530,000	95,230	
記念品・慶弔費	60,000	120,000	60,000	
銀行郵貯手数料	173,170	170,000	△ 3,170	
取扱手数料	278,388	240,000	△ 38,388	
減価償却費	115,683	138,820	23,137	
出張旅費	0	0	0	
名簿印刷発行費	127,050	127,050	0	
朝陽発行費	3,461,324	3,461,000	△ 324	
総会費	0	0	0	
支部助成金	0	30,000	30,000	
校歌祭費用	0	0	0	
朝陽クラブ運営費用	0	0	0	
雑損失	2538	0	△ 2,538	
活動助成金	0	50,000	50,000	
母校支援費	60,000	60,000	0	
予備費	0	500,000	500,000	
費用小計	8,401,293	9,646,870	1,245,577	
一般活動収支	814,164	12,130	△ 802,034	
●100周年記念事業				
＜収益の部＞				
100周年記念募金	4,701,000	10,000,000	5,299,000	
館山寮再建募金	5,951,010	10,000,000	4,048,990	
収益小計	10,652,010	20,000,000	9,347,990	
＜費用の部＞			0	
朝陽奨学金	1,200,000	1,500,000	300,000	就学援助金として
館山寮再建引当金	5,951,010	10,000,000	4,048,990	
事業準備室	807,704	0	△ 807,704	レイフラットとの契約解除
ホームカミングディ	0	0	0	
記念音楽会	0	100,000	100,000	練習場所借り賃補助
記念ロゴ	156,184	238,000	81,816	
100年誌	10,698	430,000	419,302	編集作業開始
水上寮再生	0	30,000	30,000	
朝陽合唱団	0	30,000	30,000	
募金趣意書印刷	583,260	580,000	△ 3,260	
費用小計	8,708,856	12,908,000	4,199,144	
100周年記念事業収支	1,943,154	7,092,000	5,148,846	
当期経常増減額	2,757,318	7,104,130	4,346,812	

会費卒業年次別納入者分布表 2,139名 (内、長期1,880名) 2020年度



2020年度実績

年会費 259名 518千円
 長期会費 1,880名 3,133千円
 合計 2,139名 3,651千円

対象人数 15,129名*
 納入率 14%

*「朝陽」発送者数の内、卒業5年目までを除く人数

OB・OGのためのキャリアガイダンス 企画書 兼 実施要項

100周年記念プロジェクト 019 OB訪問制度の構築（就職支援活動）

2021年度事業計画「OBOG就職活動支援」先行実施

組織強化委員会案 2021年3月19日

1. 目的
 - ・ 仕事や就職に関する情報の授受の機会を設ける。
 - ・ 朝陽同窓会の縦の繋がりを有効活用できる場を設ける。
 - ・ 若い世代（具体的には入会から5年以内（2021年度は69回以降））の同窓会への興味関心を高める。
2. 開催日時 [第1回] 2021年3月27日（土）13:00～15:00
3. 開催場所 Zoom会議にて（今後は対面形式も検討する）
4. 形式
 - (1) 講師（3名）による発表（1人20分程度）
 - (2) 発表に対する質疑応答（就職や仕事で全体に関わる質問など。全体で45分程度）
5. 組織強化委員会活動内容と役割分担

◎事前準備

- ①受講者の要望を把握する
 - (1) 受講予定者へのヒアリング実施。対面やメールにて希望を聞く。
- ②会の概要作成
 - (1) 事前準備の段取りと役割分担を決める。
 - (2) 当日の段取りと役割分担を決める。
- ③講師の依頼
 - (1) 講師推薦状を作成する。
 - (2) 事務局に協力（推薦）をしてもらい、講師の確保をする。
→講師の募集範囲は入会后12年以内（すなわち20歳台）を目安とする。
（職種によっては多少前後する）
 - (2) 講師への説明。
→講師の日程と環境確認。
- ④会場作成
 - (1) Zoom会議の仕様等を事前に確認。Zoomアカウントは事務局のものを借りる。
- ⑤受講者・聴講者の募集と案内
 - 案内文を作成する。募集と案内は事務局を通じて行う。
 - 受講者の募集範囲は入会后7年以内（浪人、留年、大学院進学などがあるため）

◎当日役割

- ⑤司会・進行
 - 組織強化委員会が行う。
- ⑥Zoom対応
 - ミーティング形式で行う。座談会時にブレイクアウトルームを利用するかは検討中。
 - 受講者からの質問をチャットに投げてもらい質疑応答の時間に司会が読み上げる。または指名をする。

・録音・録画。→あくまで記録用なので、どこかへアップロード等はしない。

⑦記録

・HP、FB用記録作成。

◎事後作業

⑦事務局へ、講師謝礼送付の依頼。

⑧事務局へ、実施報告、HP・FBへの掲載依頼。

→内容については記録を基に作成。写真が必要であれば参加者に許可を取りスクリーンショットを利用。掲載前に許可をとれるようにする。

⑨事務局へ、参加者に対するアンケートの依頼。

→内容は事前に作成して組織強化委員会で協議する。

→アンケートと別に受講者から講師への質問があれば事務局経由で依頼する。

→講師へのアンケートは組織強化委員会が直接行う。

6. 予定講師

[第1回]

65回 古谷 真 佐藤栄学園栄東中学校・高等学校 教諭

66回 池田 丞吾 足立区立千寿小学校 教諭

68回 森 奈乃 足立区立中島根小学校 教諭

計3名

7. 当日参加者

○組織強化委員会・事務局・役員

・司会：34回 小野瑞城

・記録：35回 安部ふゆみ

・Zoom担当：60回 楠木綿太

○講師（上記6.の通り）

○受講者

○聴講者

8. 用語の定義

・組織強化委員会：朝陽同窓会代表幹事会にて承認された組織。

委員長：34回 小野瑞城 委員：35回 安部ふゆみ 60回 楠木綿太

・講師：就職に関する経験を話す立場の朝陽同窓会会員。

・受講者：講師の話聞く立場の朝陽同窓会会員。入会から5年以内をメインとする。

・聴講者：朝陽同窓会事務局員や朝陽同窓会役員会員。

・参加者：講師、受講者、聴講者すべて。

・事務局：朝陽同窓会事務局。窓口は15回 西出紀久幹事長。

9. その他

・講師への謝礼は¥3,000-の予定。2021年度事務局予算案に組み込んで頂く。

・[第1回]は2020年度内であるため、2021年度事業計画の先行実施として役員会で承認を頂く。（予定）